

いっぱん質問

行政の考えを聞く



山本 幹雄 議員
市道の舗装状況について

11P

田淵 千恵子 議員
教育行政について

11P

田中 日本明 議員
施政方針について

12P

岩永 利勝 議員
鴨生、樋渡地区の豪雨対策について

12P

森 裕治 議員
嘉麻市の林務行政について

13P

山倉 敏明 議員
施政方針について

13P

藤 伸一 議員
保健行政について

14P

田上 孝樹 議員
学校のアレルギー疾患のガイドラインについて

14P

中村 春夫 議員
健康づくり事業について

15P

田中 義幸 議員
デジタルSTBの指名競争入札について問う

15P

赤間 幸弘 議員
平成24年度施政方針について

16P

宮原 由光 議員
熊ヶ畑地区の産廃処理施設の拡張計画について

16P

浦田 吉彦 議員
山がお金になる

17P

紙面の都合により、いっぱん質問の内容を680字以内でまとめています。

田淵 千恵子 議員

教育行政について

問. 嘉穂小学校通学対策は

答. 通学バスは市バスの活用を検討し、通学路の整備は準備委員会の意見を尊重する



田淵議員

質 児童の通学バスについては新規購入するのではなく、現在嘉穂地区中心に運行されている市バスの運用を願う。なぜなら市バスの利用者はごく少数。登校時間帯や下校時間帯ですら利用が少ないのが現実である。

質 嘉穂教育部長 教育委員会ではスクールバスの専用として購入した場合、スクールバスとしてしか使えないが、仮に市バスの活用とすれば活用の幅が広がる。様々なハードルがあるが、今後総務課との協議をしながら市バスの活用を検討していきたい。

質 徒歩通学児童に対する通学対策の展望は、教育部長 小学校区ごとに行政区やPTAを含めた通学対策準備委員会を開催し、通学路の決定や歩道・ガードレールの設置などの意見の取りまとめをしている。特に安心安全の観点にたち、街灯等の設置なども視野に入

質 通学費用の保護者負担については、本中学校教育課長 公費負担は、現在バス通学の稲築西小学校の14名に全額補助と嘉穂中学3名に2割補助をしている。嘉穂中のスクールバス20名は無償であり、新設嘉穂小学校のスクールバス利用も公費負担となる。



嘉穂市バス

質 合併後の行政の格差がまだまだ残っている。この点について市長の見解を。

山本 幹雄 議員

市道の舗装状況について

問. 嘉穂地区の道路舗装についてどう考えているのか

答. 必要な個所については当然舗装をして行く



山本議員

質 市道の総延長と舗装延長、舗装率及び各地区の舗装率と未舗装延長はどうなっているか。

質 舗装率が悪く、未舗装延長が最も長い嘉穂地区について、どのように考えるのか。

質 舗装率が悪く、未舗装延長が最も長い嘉穂地区について、どのように考えるのか。

質 企業誘致の現状は、松岡産業振興課長 現在譲渡出来る工業団地はない、しかし市内誘致企業の推進及び雇用の促進に努めたい。



嘉穂地区市道

質 財源不足についてどのように考えるか。

岩永 利勝 議員

鴨生、樋渡地区の豪雨対策について

問. 総合的な計画状況について

答. 平成27年度までに完成したい



岩永議員

質 鴨生地区の水害対策の最終的な計画は。
山口土木課長 鴨生地区全体の地形及び水路の断面等の検討を行い、スライミングプラザなつきの横に3万5千㎡の調整池をつくり、河川改修工事を2カ所検討している。
質 河川改修の場所は。
土木課長 鴨生口交差点のローソンより下流水路、平野小児科前からパチンコ店の裏側の水路改良の2カ所だ。

質 庄内側からの流水対策は。
土木課長 飯塚市の方で、平成24年度当初予算で約3千万円が計上され、用地買収をし、調整池をつくる費用すべて飯塚市で負担することです。計画されている。
質 嘉麻市、飯塚市の計画が完成するのはいつ頃になるのか。
土木課長 平成24年度にスライミングプラザ横の用地買収を行い、調整池と防護柵設置工事、

平成25年度に2ヶ所の水路工事を行いたい。平成23年度に購入した消防署前の調整池用地は、平成27年までには完成させたいと考えている。
質 樋渡地区の水害対策は、国土交通省に要望しているとのことだが、その後どうなっているのか。
土木課長 国土交通省では、遠賀川の浚渫を計画している。下流から実施する方針で、現

在、中間市の固定堰の改修、直方市、小竹町の河川改修、飯塚市鯉田地区の水路改築の工事が実施されているということなので、市としては下流域の工事の早期竣工と上流域の浚渫を今後も続けて要望していく。
※ この他スポーツを通しての子どもたちの絆を深める質問もしました。



調整池用地（スライミングプラザ横）

田中 日本明 議員

施政方針について

問. 子育て等にケーブルテレビの活用を

答. 情報基盤を活用する事で、子育ても上手いいくと考える



田中議員

質 嘉麻市の基盤づくりのため取り組んできたことは。
松岡市長 市民が主人公の市政と福祉の向上だ。
質 ケーブルテレビ拡張事業の重要性をどう考えているか。
市長 情報基盤の整備は道路と同じように捉えなければ市の活性化はない。行政の効率化、産業競争力の強化、住民サービスの向上などが地域社会の起爆剤として求められていると考える。

質 子育て等にケーブルテレビを活用し、事業を展開していく事は嘉麻市発展にも繋がると思うがどうか。
市長 情報基盤を活用する事で、子育ても上手いいくようになるし、交流の場もできると思っている。
意見 （加入者宅まで）光ケーブルを敷設すれば、企業や医療関係の対応も出来るよう

になり、市をアピールする起爆剤になると思う。
質 子育て支援の具体的な施策は。
山口生涯学習課長 将来の地域リーダーを育成するジュニアリーダー養成研修のほか、子育てに不安を持つ保護者の体験講座や自主的サークルの立ち上げ、子育てネットワークの構築への支援をしている。
質 安心して産み育て

ることが出来る環境づくりの推進の内容は。
子ども育成課長 保護者の不安解消、地域子育て支援センターの活用、経済的負担の軽減に努めるなどだ。
質 国は子育て支援施策として、命と育ちを大切にすると、困っている声に応える、生活を支えるの3つを掲げているが、市長の考えは。
市長 地域で安心して産み育てられる取り組み、育成支援の為に社

会づくり、親が安心して働く事の出来る体制づくり等に取組んで行く。
意見 政策的なもので、総合計画が上がっているものは、言葉のあやでなく、確実に実施出来るものから取組みをお願いする。



山倉 敏明 議員

施政方針について

問. 防犯灯、全市に無料ということではできないか

答. 基本的にできない。



山倉議員

質 3・11以降の防災計画の見直しについて、先日、田川の方で地域防災計画を本格的に見直し、10月には目標設定すること。計画を立てた時点の職員の数、現在の職員の数、避難状況をどう配置していくのかの問題からしたら、かなり変化が出てきている。早く県の意向を察知して、防災計画の見直しをやってもらいたい。

松本総務課長 今言われたような形で、見直しの際、盛り込んでいきたいと思っている。**要望** 是非、対応してもらいたい。

質 防犯灯の件だが、稲築地区で説明会があった。当日、出席人数は約30名弱で、稲築地区の人口比からしたら、本当にわずかだが、地区の説明会はあれで終わりか。

総務課長 説明会は一応終わりだが、地元管理ということになると、行政区、隣組単位ということになるので、後はそこその行政区長、連合会も当然だが、行政区ごとに区長と隣組長等に説明なり、理解をいただくための話は、当然もっていくことになる。



防犯灯（稲築地区）

んの理解を求め、対応していきたい。

森 裕治 議員

嘉麻市の林務行政について

問. 森林の空間利用を考えてみてはどうか？

答. 検討する価値は十分あると思うし、研究したい。



森議員

質 嘉麻市は県内でも有数の森林面積を誇っているが、現状についてお尋ねしたい。**有田農林整備課長** 森林面積は7660haで、人工林が5852haであるが、木材価格の低下、後継者不足などで、林業離れになっている。

質 国にも法改正などで、木材自給率50%を目指しているので森林整備はしっかりとやってもらいたい。**農林整備課長** 県が、平成20年度から森林環境税を導入し、荒廃森林の整備に取り組んでいる。

質 森林は、経済面では確かに厳しいが、一方で自然環境に寄与するものは、大変大きいものがある。そこで、森林の空間利用を考えてみてはどうか。**農林整備課長** 森林は木材を輩出するだけではなく、水源の涵養と、土砂災害の防止、それから、CO₂を吸収して酸素を供給するなどたくさん公営的な機能がある。そのひとつに森林浴の癒し効果もよく知られている。

松岡市長 検討、研究する価値は十分にある。これは、フイントチツトという物質が、ストレスなどに効くといわれている。鳥取県にある大山のフイールドアスレチックは、すべての遊具が自然木で作っている。こうした先進的な施設への調査研究も必要と考えている。



嘉穂地区森林

質 市の財産である森林を活かした取り組みを是非市長にお願いしたい。**松岡市長** 検討、研究する価値は十分にある。これは、フイントチツトという物質が、ストレスなどに効くといわれている。鳥取県にある大山のフイールドアスレチックは、すべての遊具が自然木で作っている。こうした先進的な施設への調査研究も必要と考えている。

田上 孝樹 議員

学校のアレルギー疾患のガイドラインについて

問. アレルギー疾患の実態と取り組みについて

答. 実態把握を入念に、一人ひとりの児童にきめ細かな対応を確認



田上議員

質 本市におけるアレルギー疾患の児童の有病率と人数について伺う。

本 本学校教育課長 小中学生合わせて、気管支ぜんそくは、6.8%で222人、アトピー性皮膚炎は2.4%で79人、アレルギー性鼻炎は14.8%で487人、食物アレルギーは4%で126人、アナフィラキシーは、0.2%で8人、延べ1167人在籍している。

質 食物アレルギー等で急激なショック症状、アナフィラキシーショックを引き起こした場合の対処法であるアドレナリン自己注射薬エピペンを携行している実態について伺う。

本 学校教育課長 本市では、内服薬や自己注射薬エピペンを携行している児童生徒はいない。

質 アナフィラキシーショックを引き起こした場合、発症から30分以内にエピペンを注射できるかどうかで生死を分けるとされているが、学校での対応については。

本 学校教育課長 そのような児童が在籍している学校では、緊急時の対応マニュアルを作成し、教職員間の応援体制づくり、一時救命措置、救急車の要請目安等について職員全体で確認し準備している。

質 本市の学校におけるアレルギー疾患の取り組みについて伺う。

本 学校教育課長 1点目に保護者との面談、場合によっては主治医に専門的な知識、対処の仕方等を指導してもらい、実態把握を入念にしている。2点目一人ひとりの児童にきめ細かな対応ができるように全職員でその対応のあり方について確認をしている。

質 保育園、幼稚園と学校の連携も大事だと思いが、どうか。

本 松岡市長 保育所等も連携をしっかりと取って、こういった子どもたちに対応して、子どもたちが生き生きと学校生活を送れる手立てを深めていきたい。



藤 伸一 議員

保健行政について

問. 高齢者の肺炎球菌ワクチンの公費助成の取り組みは

答. 今後の検討課題と考えている。



藤議員

質 日本人の死亡原因の上位を占める肺炎は、年間、全国で11万人の高齢者の方が亡くなっている実態があり、その予防方法として、肺炎球菌ワクチンの接種が有効であるとされているが、ワクチンに対する担当課の認識は。

本 中村健康課長 肺炎球菌については、肺炎の原因となる病原体の中で、最も頻度の高い肺炎球菌を担ったワクチンで、ワクチンを接種

することにより、肺炎に罹患しても軽症で済み、抗生物質が効きやすくなり、肺炎の予防効果があると、認識している。

質 公費助成を行った場合の予算算定は。

本 健康課長 現在の接種費用は、約7000円〜8000円となっており、7000円と仮定して、本人負担額を2000円公費負担を5000円、接種者7000人で算定すると、

3500万円程度の公費負担となる。

質 先進事例として、全国の自治体で、660市町村で公費助成をおこなっている。嘉麻市でも高齢者の医療費の削減・生命・健康を守る観点から、是非、ワクチン接種の公費助成の取り組みを要望しておく。

本 松岡市長 肺炎予防にワクチンの効果を認識しており、国の動向等を見据え、今後の検討

課題としていきたい。

（胃がん検診について）

質 胃がん検診の内容は。

本 健康課長 対象者は40歳以上の方で、バリウム液を飲んでレントゲン撮影を行う検診を実施している。

質 最近の研究では、胃がんの原因として、95%がピロリ菌による感染症であることが発表されており、検診項目にピロリ菌の有無の検診を取り入れるべきと、考えるが。

本 市長 調査した上で、対応していきたい。

※他に農業政策・スポーツ振興についての質問をしました。



宮原 由光 議員

熊ヶ畑地区の産廃処理施設の拡張計画について

問. 市長は県知事に対し明確に反対の意思を表明すること

答. 市長として、先頭に立って反対をすることは非常に難しい



宮原議員

質 熊ヶ畑地区の産廃処理施設の拡張計画は、面積が6倍、埋立て容量が10倍となる大規模なものであり、市民が将来的に安全で安心な生活保障が得られない。市長は、県知事に対し、強い政治判断で明確に反対の意思を表明すること。

松岡市長 県知事に、市民の不安を取り除き、安全・安心を確保するため、きちんと対応するよう申し入れている。違法性があれば先頭に立って反対できるが、

私の立場として先頭に立って反対することは非常に難しい。
質 9月の住民説明会で、業者は現在の処理残容量は1000m³と言った。
松岡市長 県保健所に確認のため測量の要請に行くと県は「測量を5年に1回実施。産廃処分場には測量杭があり、目視で確認している。経費がかかるので、上層部と協議して返事する」との回答である。

質 航空写真を見ると、違反物のタイヤが長期間放置されている。どのように監視し、どう処理されたのか。



環境課長 違法な廃棄物にならないように、早急に指導するように、県へ要請している。

赤間 幸弘 議員

平成24年度施政方針について

問. 住宅政策について

答. 若者が入居しやすい状況をつくりだしたい



赤間議員

質 施政方針の中で市長が実施したい事業の優先順位は。
松岡市長 全体的には健全財政の確保に向けて取り組むことは変わらないが、情報基盤の整備、嘉麻市の知名度アップ（PR）、産業の振興、若者定住、国道322号線の整備が中心である。

質 平成12年から平成22年までの国勢調査の人口比較とその要因は。
質 嘉麻市の人口減少に強い危機感を持って

いる。住宅政策上からどう考えているのか。
大神住宅課長 現在3556戸の市営住宅を管理し、供給過多になっている。すでに耐用年数を過ぎた住宅（846戸）については、ストック計画に基づき、用途廃止して取り壊している。また、払い下げることの一つの考えではあるが、国土交通省等の大臣承認などが必要であるため、研究していきたい。

質 人口増につながる施策の一つとして考えられる若者層就労世帯向けの住宅供給についての考えを聞きたい。
市長 嘉麻市の公営住宅は非常に多く、老朽化もしている。修理・修繕にかなり経費がかかっている。公営住宅の場合は入居条件があるので、だれでも入居できる状況ではない。若者層就労世帯向けの住宅供給については、特定住宅を建設し若者



市営住宅

が入居しやすい状況をつくり出したい。

委員会の動き

総務財政委員会

1月27日・2月14日
付託案件審査

建設産業委員会

2月9日
所管事務調査(市内)

民生文教委員会

2月7日
所管事務調査
(小郡市・宮若市)

嘉穂地区小学校統合
施設整備に関する
調査特別委員会

3月5日
嘉穂地区小学校統合
施設整備に関する事
項について

議会運営委員会

1月16日
1月臨時会の日程等
について
2月22日
3月定例会の日程等
について
3月15日
3月定例会最終日の
日程等について
3月30日
議長の諮問について

議会改革に関する
調査特別委員会

1月25日・3月2日
議会改革に関する事
項について

広報編集特別委員会

1月12日・1月20日・
1月24日
議会広報の編集



説明を受ける民生文教委員（宮若市）

浦田 吉彦 議員

山がお金になる

問. イノシシ、シカをハムや
くん製に。そして竹も

答. 竹チップを土壌改良材
として販売



浦田議員

質 質問に入る前に、最高規範（嘉麻市自治基本条例）を無視した松岡市長の答弁は、今回は信頼できないので、市長の答弁は求めない。防護柵は「受益戸数が3戸以上である」という制約があり、最も被害の深刻な地域が取り残される結果となっている。そこで、市独自の補助をすべき。イノシシ、シカのハムやくん製はいつ作るのか。東日本の大震災で被災された方々の中には、原発被害のこともあり被災地を離れ、生活したいと考えている方々も多くおられると報道されている。そこで、現地に行き、わが市の農地や空き家を紹介してはどうか。

松岡産業振興課長 防護柵問題は、農地の特性である水源の涵養の観点からも重要だ。そこで、耕作放棄地の協議会を立ち上げ、今後、協議していく。

質 ハム、くん製は、さつそく試食品を作り、試食する。大変な震災であり、現地に行き、新聞社などの情報も聞きながら農地や空き家の情報を紹介したい。

質 竹チップや木質バイオマスエネルギー問題を聞く。



設置された防護柵

る体制を強化する。